



# 研究部だより CONNECT

実践共有編

Creating a Fun School Where Everyone Thrives!  
子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり

2025.10

VOL.2

## 今回の実践

## クリアファイルを活用したプチ改革！

改革を行うに至ったきっかけとして、提出文書や命令簿などの提出物の期限を守るのが苦手な職員がいた。そのため、管理職が把握しやすく、また職員自身も意識的に書類を管理できる仕組みづくりが必要であった。人は8割以上の情報を視覚から得るといわれており、「見てすぐに分かる環境」を整えることが効果的であると考えた。

そこで、黄色・青色・紫色のクリアファイルを用意し、黄色は通知関係・青色は提出関係・紫色は出張関係とそれぞれに色で意味を持たせた。文書は受付・回覧後に内容を仕分けし、対応するファイルを通して職員へ配布するようにした。



### 改善前

提出関係の書類や命令簿など、提出が必要なものが期日までに出不されず、本人だけでなく周囲の業務の進捗にも影響を及ぼしていた。また、職員自身も文書の管理方法について困り感を持っていた。

### 改善後

上記の取組により、本人が机上のクリアファイル（特に青と紫）を見て意識して確認するようになり提出漏れが格段に減少した。

さらに、他の職員からも「視覚的に文書が管理しやすくなった」と好評の声が寄せられた。

## 実践を行ってみて

学校全体の文書の管理がしやすくなり、行って良かったと感じた。県費職員が16人いるため文書の仕分けの際に多少の手間が増えてしまうが、このほんの少しの取組で職員全体に良い影響を与えることができると感じた。

業務改革という言葉をよく聞くが、難しく考えるのではなく、今回のようなささいな取組からも働きやすい環境を作ることができることがわかった。経験年数など知識の差はあるが、まずは自分にできることをして働きやすい学校を作れるようにしていきたい。



新潟県学校事務研究協議会

新事研は、子どもも大人もいきいきと活躍する  
楽しい学校づくりを目指します

■ ホームページ

<https://shinjiken.ngt.ed.jp>



感想や質問をお寄せいただきありがとうございました。皆様からのフィードバックは、実践者の大きな励みとなり、次の挑戦への原動力となっています。また、他者の視点や意見を知ることは、新たな気づきや学びにつながります。お寄せいただいた声を共有しますので、さらなる学びのきっかけとして、ぜひご覧ください。

今回は



## クリアファイルを活用したプチ改革！

の感想や質問を  
まとめました

## 感想ピックアップ

## お寄せいただいた感想をご紹介します

- 文書を配付しても、そのまま積んでしまう職員やあまり確認せずに綴ってしまう職員がいます。そうした職員のために**丁寧に工夫を凝らしている姿に尊敬の念を抱きました**。これを機に、**自分に合ったサポートの在り方**について考えていきたいと思います。
- 一目見てどのような処理をするのかが分かるのですごくいい取組だと感じました！**少しの改善でも仕事が進めやすくなる**ので私も真似したいと思いました。
- 人は8割以上の情報を視覚から得るということから**「見てすぐに分かる環境」を整えるのは**すごく効果的だと思います。ほんの少しの取組で効果が出るのはいい実践の証拠だと思います。



## 質問コーナー

## 質問 &amp; 実践者からの回答

返却棚↓



Q1. クリアファイルは職員が確認した後、どのように返却していましたか？

A1. 返却場所（棚）を周知し、**職員自身に返却**してもらいました。

Q2. この取組を行うためにクリアファイルをどのくらい用意しましたか？

A2. 通知関係（黄色）150枚、提出関係（青色）50枚、出張関係（紫色）100枚を**市会計**で用意しました。かかった費用は、1万円程度です。※当時の**県費職員数は16名**でした。

Q3. 職員がクリアファイルのそれぞれの色の意味を理解するまで時間はかかりませんでしたか？

A3. 3色のみだったこともあり、**職員集会の際に周知**を行うだけで理解してもらうことができました。

## 実践者コメント

## 感想・質問をお寄せいただきありがとうございました！

ご感想、ご質問いただきありがとうございました。小さな実践でしたが、褒めていただけてとても嬉しかったです。また、この実践が仕事のやる気に繋がったという方もいらっしゃると思いますが、なにより嬉しかったです。これからも自分にできる取組をして、少しでも働きやすい環境を作っていきたいと思います。



あなたの実践も募集中！

一人の実践はみんなの学びへと繋がっています。引き続き、皆様からの実践提供をお待ちしております。

回答は  
こちら